

平成19年度 事務事業評価表		担当	企画部	企画広報課	内線等	1532
事務事業名	海のまちづくり推進事業			事業コード	1. 一般事務事業(ソフト事業)	
根拠法令等				Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	港湾・海岸
------	-----------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市民のために
手段	蒲郡港湾関係者、経済関係者、市民団体及び行政が一体となった活動、又は、景観整備を行うことで
想定する成果	浜町地区の港湾機能の整備、又はみなとオアシスエリア(竹島ふ頭一帯)の活性化を図る。

事業の概要

項目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
経常経費	1,602千円	4,223千円	4,860千円
負担金等経常経費以外	2,000千円	3,191千円	4,500千円

成果指標

成果指標名	経費比率(経常経費を除いた額と事業費の比率)	みなとオアシスがまごおり関連事業費比率
成果指標の説明	海のまちづくり施策の推進状況の把握	平成19年度に中部地方整備局管内第1号で認定された、みなとオアシスがまごおり事業の把握

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		55.5%				43.0%				48.1%			
成果指標		27.7%				29.7%				42.7%			
事業費	事業費	3,602				7,414				9,360			
	人件費	7,784				7,810				7,845			
	(人数)	正規	1.0	非常勤		正規	1.0	非常勤		正規	1.0	非常勤	
	合計	11,386				15,224				17,205			
財源内訳	国					1,200				2,000			
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	11,386				14,024				15,205			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	2	3	1	平成19年4月に中部地方整備局管内第1号のみなとオアシスがまごおりとして認定。
経済効率性	2	2	2	2	みなとオアシスがまごおり認定の効果を発揮するため国に積極的な働きかけをする。
事務効率性	2	1	2	1	海のまちづくりに関わる全ての部署の効率的な連携を図る必要がある。
必要性	3	3	3	3	海のまちがまごおりを象徴する蒲郡駅から竹島までの中心的エリアで海のまちづくりに必須である。
小計	10	8	10	7	
施策への貢献度	3	-	3	-	国、県に対しての積極的な働きかけの成果である。
合計	13	8	13	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	B	海のまちがまごおりを推進するため、さらに国、県と連携した事業展開を図る。
------	---	---	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
港湾整備を行うにあたり、港湾地区の背後(企業誘致、道路整備促進など)の活動を、行政だけでなく、経済界とともに連携し、活発化する必要がある。 竹島埠頭緑地について、市民及び市民活動団体等の声を踏まえ、必要によっては維持管理の開放を行い、より市民が親しむことができる場所とする。
上記改善点の実施状況
平成19年4月に中部地方整備局管内第1号の「みなとオアシスがまごおり」として竹島ふ頭一帯が認定を受けた。

今後さらに改善すべき点

みなとオアシスがまごおり認定エリアを軸として、海のまちづくりの積極的な展開を図りたい。

平成21年度予算に反映する項目

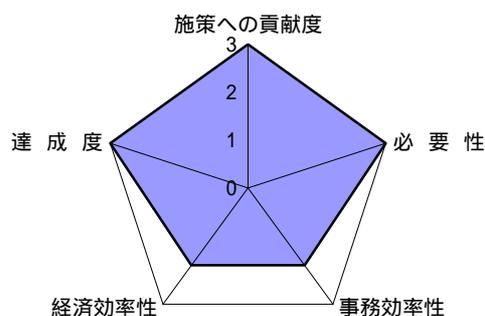
--

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点